

獨協医学会
会 長 吉田 謙一郎

運 営 委 員

矢澤 卓也* ¹	神作 憲司* ²	青木 琢	阿久津博義	井川 健
今高 城治	井原 裕	今井 陽一	上杉 奈々	奥田 竜也
長田 伝重	川合 覚	小飼 貴彦	志水 太郎	鈴木 圭輔
橋本 貢士	春山 康夫	林 啓太郎	松島 久雄	宮本 雅之
山口 重樹	和氣 晃司			

*1…委員長 *2…副委員長

Dokkyo Journal of Medical Sciences 編集委員

今高 城治*	青木 琢	井川 健	今井 陽一	小飼 貴彦
志水 太郎	鈴木 圭輔	宮本 雅之	山口 重樹	

*…DJMS編集長

Dokkyo Journal of Medical Sciences 編集事務局

松本智恵子

編 集 後 記

本号の特集は、吉原重美先生に企画いただき『アレルギーの up to date』(前編)と題した、アレルギー医療の最前線を探る内容です。近年、アレルギー疾患の発症率は世界的に増加しており、その背景には地球環境やライフスタイルの変化が深く関わっています。アレルギーの発症メカニズムの根本は、特定のアレルゲンに対する体内免疫系の過剰反応です。最近の研究で注目すべきは、アレルギー特異的な免疫療法や、抗体薬に関するバイオテクノロジー技術の進展で、将来的には個別化されたオーダーメイド治療が進み、一人一人をターゲットに、副作用を抑えた最適なアレルギー管理が期待されています。

そもそも日本にスギ花粉症が多い背景には、戦後の木材不足を解消するために多くの天然林が成長の早いスギに植え替えられた歴史があります。平成24年の林野庁データによると、スギの人工林は日本の森林面積の18%、人工林面積の44%を占めるそうです。増え続けるスギ花粉に対して、全国のスギを伐採すればという意見もありますが、膨大な植林スギがクリーンエアーを掌るCO₂増加を削減してくれている実情もあるのです。

本号が皆さまの手元に届く頃、世界はフランスのパリ2024オリンピックに湧く時期でしょう。日本はスギ花粉症の多い国ですが、スギの少ないフランスではスギ花粉症は稀です。しかし国が変われば病も変わり、フランスでは樺の木、トネリコ、ヒノキ、ポプラ、ヤナギ、オークなど、フランス特有のアレルギー疾患があるそうです。

オゾン層の破壊と地球温暖化の影響で植物の花粉の飛散量が増加し、全世界的に様々な花粉のアレルギーが増加しているのです。アレルギー疾患の根本的解決を志すことは、持続可能な未来の地球環境の在り方に対する包括的アプローチと考えても過言ではありません。なぜなら現代社会のシステムは様々な「つながり」で形成されているからです。一つ一つは小さくとも、科学的事実を文字データに情報として残すことは、未来に繋がることです。DJMSは医科学をメインに幅広い分野を網羅するプラットフォームです。どうぞ会員諸氏が経験された示唆に富む知見を、本誌にご投稿くださいましたら幸いです。

(今高城治)

2024年7月20日印刷

第51巻 第1号

2024年7月25日発行

編集発行人

獨協医学会

吉田 謙一郎

発行所

獨協医学会

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地

獨協医学会

Tel (0282) 87-2484

製 作

教 文 堂

〒162-0804 東京都新宿区中里町27

Tel (03) 3260-6136